

# 学力調査結果

教育指導課指導係 ☎ 0824・73・1184

本年度実施した、全国学力・学習状況調査および広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果は次のとおりでした。

市教育委員会は、これらの調査で明らかになった児童生徒の課題を分析し、児童生徒一人一人の学力向上を目指す取り組みを進めていきます。

表1から、数学以外は市の平均正答率が全国平均を上回っています。

しかし、知識・技能を活用する内容のB問題の平均正答率が、A問題に比べて低く、特に算数B・数学Bはともに50%を下回り、大きな課題があります。

表2から、教科全体の平均通過率は、おおむね県平均程度か県平均を上回っています。また、基礎的・基本的な学習内容(タイプI)は、おおむね定着していると考えられますが、全国学力・学習状況調査と同様に、知識・技能を活用する内容のタイプIIの通過率が、タイプIに比べて低くなっており課題が見られます。

## 全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省が行う全国学力・学習状況調査が4月21日に実施され、小学6年生と中学3年生が参加しました。(表1)

〔小学6年生〕				〔中学3年生〕			
教科	庄原市	広島県	全国	教科	庄原市	広島県	全国
国語A	74.2	73.8	70.0	国語A	76.8	76.5	75.8
国語B	68.2	69.7	65.4	国語B	66.9	67.0	65.8
算数A	77.9	77.7	75.2	数学A	62.8	64.6	64.4
算数B	47.3	46.7	45.0	数学B	41.5	42.7	41.6
理科	65.2	63.2	60.8	理科	54.9	52.2	53.0

※Aは基礎的・基本的な内容、Bは知識・技能を活用する内容  
※数値は平均正答率(%)

## 広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果

県教育委員会が行う「基礎・基本」定着状況調査が6月9日に実施され、小学5年生と中学2年生が参加しました。(表2)

〔小学5年生〕				〔中学2年生〕			
教科	庄原市	広島県	教科	庄原市	広島県		
国語	教科全体	77.5	74.7	国語	教科全体	72.4	73.6
	タイプI	80.4	78.3		タイプI	74.1	75.7
	タイプII	64.3	58.3		タイプII	65.7	64.8
算数	教科全体	71.0	71.6	数学	教科全体	69.2	70.4
	タイプI	79.2	78.5		タイプI	72.6	74.2
	タイプII	45.0	49.4		タイプII	57.6	57.2
理科	教科全体	67.2	65.3	理科	教科全体	54.0	50.2
	タイプI	71.9	69.7		タイプI	56.7	51.0
	タイプII	56.2	55.0		タイプII	50.0	49.1
				英語	教科全体	78.0	68.2
					タイプI	80.9	70.2
					タイプII	66.8	60.6

※タイプIは基礎的・基本的な内容、タイプIIは知識・技能を活用する内容  
※数値は平均通過率(%)

## 広島県「基礎・基本」定着状況調査の質問紙調査における調査結果(抜粋)

「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的に回答している割合(%) (表3)

設問	小学5年生		中学2年生	
	庄原市	広島県	庄原市	広島県
自分で勉強の計画を立てている	76.2	62.2	57.9	50.6
学校の授業の予習をするようにしている	69.5	55.2	46.1	39.9
学校の授業の復習をするようにしている	87.9	65.7	69.0	57.4
家庭で1日に1時間以上勉強している	平日	69.1	53.7	62.7
	休日	51.2	38.8	71.2
1日に3時間以上テレビを見たり、ゲームをしたりしている	平日	29.3	25.6	26.6
	休日	52.0	38.7	57.6
1カ月に6冊以上読書をしている	51.6	38.9	15.9	13.6
家庭で1週間に3時間以上読書をしている	12.1	11.9	7.8	8.0

表3から、自分で勉強の計画を立てたり、家庭で1日1時間以上勉強したりしている児童生徒の割合は、すべて県平均を上回っています。また、年を追うごとに肯定的回答の割合が上昇しており、家庭学習習慣が定着してきています。

一方で、市内全ての小中学校では、家庭と協力して「アウトメディア」に取り組んできましたが、1日に3時間以上テレビを見たりゲームをしたりしている児童生徒の割合は、中学2年の平日以外は県平均を超えています。特に、小学5年の割合が本年度は大きく増加しており、休日では県平均を10ポイント以上上回っています。また、家庭で1週間に3時間以上読書をしている児童生徒の割合は減少傾向にあります。引き続き、学校と家庭が協力して「アウトメディア」に取り組むことや、就寝、起床、家庭学習を始める時間を固定すること、休日の家族でのふれあいや読書などの時間を増やすことが大切です。

※「アウトメディア」：家庭での時間の過ごし方やメディアとの接触時間を改善するため、子どもたちが日常生活の中で必要なメディアを選択することができる力を身に付けることをねらいとした取り組み